

会 議 録

会 議 名 嵐山町立学校統合準備委員会 第8回総務部会						
開 催 日 時	令和8年3月19日(木)			開 会	午後5時00分	
				閉 会	午後5時23分	
開 催 場 所	嵐山町役場庁舎 302・303 会議室					
会 議 次 第	1 開 会 2 あいさつ 3 議題 (1) 校章候補アンケートについて(報告) (2) 校章デザインについて(候補選定) (3) 校歌の決定方法について 4 その他 5 閉 会					
公開・非公開 の別	公 開		傍聴者数		なし	
非公開の理由 (非公開の場合)	(非公開の場合)					
委員出欠状況	部 会 長	林 雄一	出	委 員	八木原夏実	欠
	委 員	成田彩恵	出	委 員	安藤淳之介	欠
	委 員	石森奈通子	欠	委 員	高橋 誠 (代理 矢吹理子)	出
	委 員	関根盛敏	出	委 員	高橋悠里	出
	委 員	荒川 統	出	委 員	高田 享 (代理 木村由香利)	出
	委 員	田中 守	出	委 員	小野川和史 (代理 岡田至晃)	出

	その他 七郷小教頭	工藤禎之	出		
教育委員会	教育長	下村 治	学校統合推進 課長	久保哲也	
	学校統合推進課 副課長	尾針雄介 (司会・進行)	学校統合推進課 主任	吉野祐介	
次 第	て ん 末				
1 開 会	教委 (司会)	開会宣言			
2 あいさつ	林部会長	各学校におかれましては、卒業式、学年末の事務等でお忙しいとは思いますが、円滑な協議をお願い致します。			
3 議題		林部会長が議長となり、議事を進行			
(1) 校章候補アンケートについて(報告)	教委	・校章候補アンケートの調査報告を行った(資料 1-1~3) ・総務部会として第 1 候補から第 3 候補までを選定し、最終的に教育委員会へ上申し、そこで最終決定する見込みです。			
	林部会長	説明が終わりました。何か質問等がありますか。			
	委員	特になし			
(2) 校章デザインについて(候補選定)	林部会長	これからアンケート結果を参考にしながら校章候補を選定していきますが、アンケート結果 2 位の「A」は小学校、中学校共通のデザインになっているので、この図案に関しては改めて協議が必要かと思えます。 大前提として、当町が掲げているのは「小中一貫教育」であり「小中一貫校」ではありません。あくまで小学校 1 校、中学校 1 校への統合を進めています。これらが混同している一般の方もいるかと思えます。一方、共通デザインを賛成する方もいるかと思えます。 皆様のご意見はいかがですか。			
	荒川委員	個人的には小学校、中学校で異なる校章デザインの方が良いと思えます。また、「A」は校章デザインではなく「武蔵嵐山」のデザインと勘違いされる可能性もあるかと懸念します。			
	林部会長	校章デザイン選定にあたり、「A」を選定対象とするか、多数決を取ります。			
		(対象とすべき：1 票、対象とすべきでない：8 票)			
	林部会長	多数決により、「A」を対象外として選定していきます。			

	教育長	参考情報として、町の木、花、歌などは条例で定められています。が、「I」に配置されているオオムラサキは条例で町の蝶と定められているわけではありません。
	林部会長	アンケート調査結果に基づき、「A」を除いた状態で上位から順に第1候補から第3候補までを選定してよいか、多数決を取ります。
		(賛成：8、反対：1)
	林部会長	多数決により、第1候補「I」、第2候補「H」、第3候補「F」を選定します。
(3) 校歌の決定方法について	教委	・校歌の決定方法について説明を行った。(資料2) ・校歌決定までの大きな流れとして資料のとおり進めることについて承認を求めた。
	林部会長	説明が終わりました。何か質問等がありますか。
		特になし
	林部会長	それでは、説明のとおり進めてください。
4 その他	教委	本日午後5時30分から「第3回統合準備委員会(全体会)」を開催します。
5 閉会	教委	

以上、会議のてん末を記載し、その相違なきを証するため、ここに署名する。

令和 8 年 3 月 30 日

部会長 林 雄一

嵐山町立学校統合準備委員会 第8回総務部会 会議次第

日時 令和8年3月19日(木)17時から
場所 嵐山町役場庁舎 302・303会議室

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 議題
 - (1) 校章候補アンケートについて(報告)
 - (2) 校章デザインについて(候補選定)
 - (3) 校歌の決定方法について
- 4 その他
- 5 閉会



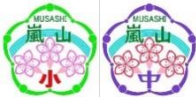






アンケート調査報告書

下記のとおり実施致しましたので報告いたします。

記

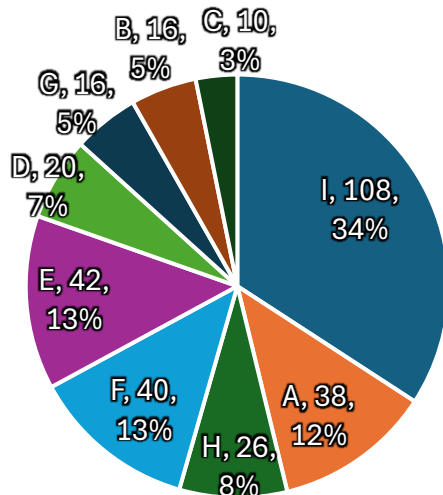
1. 調査名 校章候補アンケート
2. 回答期間 令和 8 年 1 月 26 日(月)~2 月 15 日(日)
3. 回答数 563
(一般 316[町内在住者 286、町内教育機関等職員 30]、小中学生 247)
4. 回答方法 Google フォームによる WEB 回答
5. 調査結果 下記及び別紙のとおり

【回答数順】

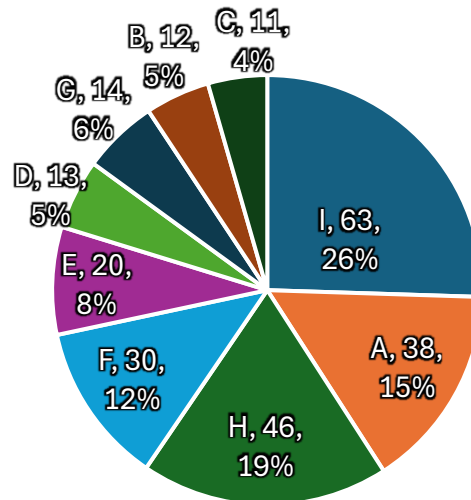
順位	候補校章記号	一般	小中学生	合計	候補順位
1	I 	108	63	171	
2	A 	38	38	76	
3	H 	26	46	72	
4	F 	40	30	70	
5	E 	42	20	62	
6	D 	20	13	33	
7	G 	16	14	30	
8	B 	16	12	28	
9	C 	10	11	21	
合 計		316	247	563	

順位		図案	一般	小中学生	合計	候補順位
1	I		108	63	171	
2	A		38	38	76	
3	H		26	46	72	
4	F		40	30	70	
5	E		42	20	62	
6	D		20	13	33	
7	G		16	14	30	
8	B		16	12	28	
9	C		10	11	21	
	合計		316	247	563	

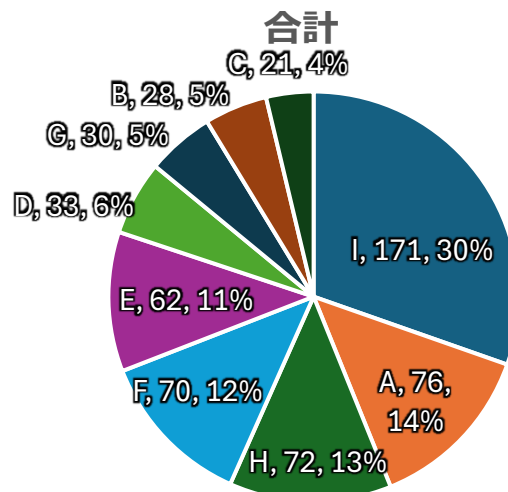
一般



小中学生



合計



嵐山町立武蔵嵐山小学校・武蔵嵐山中学校 校章候補アンケート 結果一覧(9 案)

No.	図案 (上：小学校 下：中学校)	図案説明	一般	小中 学生	合計
A		美しい自然に囲まれた環境で、真っ直ぐに学ぶ生徒達を『武蔵嵐山』の文字を使用して、デザインを仕上げました。小学校 6 年・中学校 3 年を破線を含めた 9 本の罫線で表現しております。全体の色使いは、緑と水と暖かさと優しさを感じさせる色調にまとめました。	38	38	76
B		武蔵嵐山小学校と武蔵嵐山中学校は「小」・「中」と読みを変えることでデザインを変えました。小学校を六つ、中学生を三つの罫で描き、各々学ぶ年、嵐山溪谷の岩畳・清流・自然あふれる景観をイメージ、そして「嵐」の文字を彷彿、また大地に佇む児童・生徒と見立て嵐山町を愛する姿を表わしてあります。	16	12	28
C		武蔵嵐山小学校・中学校両校の頭文字「MR」と町の花「つつじ」をモチーフに、心豊かな自然に抱かれた小・中学校周辺と両校「小・中」の文字を表し、温かい愛情に包まれ、児童・生徒の将来への大きな“夢や希望”を目標に更なる飛翔・発展・向上する明るい元気な活気にあふれる「武蔵嵐山小学校」と「武蔵嵐山中学校」の輝かしい姿を力強くアピールしていまい。	10	11	21
D		【小学校】嵐山町ゆかりの畠山重忠の家紋の「桐」の花びら及び葉をモチーフに、「桐」のもつ、高貴で偉大、重忠の誠実で思いやりの人柄をイメージし、表現しました。また、「小」文字部分にの嵐山町のシンボル・オオムラサキのイラストを合わせて図案化しました。3 枚葉で「3 校統合」を、また「小」周りの「輪」で「小中一貫教育」の「一体感」を表現しています。【中学校】嵐山町ゆかりの畠山重忠の家紋の「桐」の花びらをモチーフに、「桐」のもつ、高貴で偉大、重忠の誠実誠実で思いやりの人柄をイメージし、表現しました。また「中」文字部分にの嵐山町のシンボルのオオムラサキのイラストを合わせて図案化しました。5 裂平開きの花冠は、5 校の「小中一貫教育」を、また「中」周りの「輪」で「小中一貫教育」の「一体感」を表現しています。	20	13	33
E		嵐山町の偉人「畠山重忠」ゆかりの「五三の桐」は伝統と格式の証です。この古き伝統と新しい英語のロゴを組み合わせた校章デザインとしました。ここには郷土を愛する気持ちと世界へ羽ばたいてほしい願いを込めました。周囲の円は、小学校が 3 本、これは 3 つの小学校が集まって和(輪)をなしたもの、中学校は 2 つの中学校が集まって和(輪)をなすことを表しています。	42	20	62

F		<p>●嵐山町の町の木「梅」の花をベースにする事で、地域に守られ地域の未来を担う小・中学校を表わしています。●花びらの重なりに、子らの友達を思う心・感謝を忘れぬ心で切磋琢磨し勉学に励む学校の意味を込めています。●英字表記は、世界の広い知識で連携し次代を担う子らを象徴しています。●小学校章は、梅の花の真っ白で純粋な思いを子らの健康な成長に重ねています。●中学校章は、国蝶オオムラサキのカラーリングを取り入れて上級生の気品を織り込みました。</p>	40	30	70
G		<p>嵐山町の山並みを図案化し学生達の様々な可能性と方向性、向上心を表現しました。ラベンダーの真っ直ぐに育つ様子を図案化して取り入れました。</p>	16	14	30
H		<p>子供たちが手を広げ花が開いた形になるように手をつなぎ合っているイメージのデザインを周囲に描きました。その中に町の花ツツジを描きました。更に嵐山溪谷を流れる槻川が希望の象徴虹にも見えるように、嵐山の文字と重なるように描きました。小学校は新緑の緑を基調に中学校は町の蝶でもあるオオムラサキの色を基調に色付けしました。</p>	26	46	72
I		<p>武蔵嵐山町の町蝶である「オオムラサキ」を中心に据え、町を象徴する自然と未来へ羽ばたく子どもたちの姿を重ね合わせた校章です。オオムラサキの翼は、伸びやかさと成長を表す曲線で構成し、中央に最も視線が集まるよう配置しています。下部モチーフは学校ごとに変え、中学校では比企丘陵のなだらかな山並みを、小学校では町を流れる槻川を表し、地域に根ざす学びを表現しました。外形は中学校を六角形、小学校を円形とし、それぞれ「規律と調和」「調和とつながり」を象徴しています。色は中学校を紺、小学校を緑とし、共通して金をアクセントに使用することで、品格と統一感を持たせました。</p>	108	63	171
合 計			316	247	563

校歌の決定方法について(事務局案)

資料2

1. 歌詞募集

- ・ 校歌に入れたい歌詞(ワード・センテンス)を一般募集する

2. 絞り込み

- ・ 総務部会で歌詞(ワード・センテンス)を絞り込む

3. 楽曲作成依頼

- ・ 校歌制作業者や音楽家等に楽曲作成を依頼する

4. 監修

- ・ 有識者による歌詞のチェック

5. 完成

- ・ 令和10年12月末までに完成→児童生徒は1月～3月の間練習し、4月の開校式典等でお披露目。